

課題名 アイデアコンペ

指導教員 片渕 和啓

参加コンペ名 久留米工業大学 2013 ものづくりコンテスト

課題 「ルーム・シェア・ハウス」

主催 久留米工業大学

審査員 池鯉鮒悟 吉住孝志 大森洋子 野々村善民 土井紀佳 満岡誠治
松鶴悟実 中島隆

研究の目的

アイデアコンペを通して、現代における非家族の共生の在り方について考察し、成人6人が住むための「ルーム・シェア・ハウス」を提案する。

作品名 「CAT HOUSE」

コンセプト

シェア、それは分け合い、共有すること。人は様々なものをシェアしており、食べ物、場所、時には苦楽など感情的なことも共有する。そこで私は猫好き六人とその飼い猫たちのルーム・シェア・ハウスを提案する。

このルーム・シェア・ハウスでは猫好きの6人と猫たちが場所や時間、関係を分け合い共有することで生活している。猫好きの六人は一階部分の居住スペースにおいて各自のプライベートルーム、LDKやバスルームなどの空間をシェアしている。各プライベートルームは、猫の空間である二重壁により分けられている。二重壁の一部はガラスになっており、中の猫の様子が伺うことができ、その様子も猫好き同士でシェアできる。各部屋には、天窗があるため建てこんだ住宅地にあっても光が差し込み、人にとっても猫にとってちょうどいい日向ができるような空間になっている。目一杯光を浴びることの出来る天井裏は人と猫がお互いに共有する空間となっており、天井裏へは人は玄関横のはしごを使ってアプローチすることができ、猫は南側のサンルームの内にあるキャットタワーを使ってアプローチすることができる。この空間では人と猫が場所と時間をシェアできる。

二重壁内部には外から他の飼い猫や野良猫が入ることもできる。また、二重壁内部からはLDKに入ることもできる。このように、二重壁を介して空間をシェアすることで、新たな猫好きとの交流、猫同士のコミュニティの広がり、また人と猫との関わりが増え、より豊かな生活へと変化していくことだろう。そしてその関係もまたシェアされ、新たな関わりが出来ていく。

※平面図、立面図、断面図は全て縮尺が1/100。

パースは居室と屋根裏部分を手書きで描きあげた。

CAT HOUSE

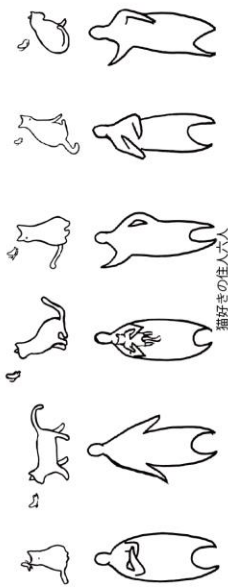
設計概要

シェア、それは分け合い、共有すること。人は様々なものをシェアして、食べ物、場所、時には言葉などでさえも共有する。

このルームシェアハウスでは猫好きの六人と猫たちが場所や時間、関係性を分け合い共有している。一階部分は猫の空間の二重壁部分が人の空間を分ける形となっていて、住宅地にあっても向空間とも天窓により光が差し込み、猫にとってもよい日向ができることだろう。

天井裏は人と猫がお互いに共有する空間となっていて、天井裏へは人は玄関からすくのはしごであがることができ、猫は南側のガラスの内側にあるキャットタワーであがる仕組みになっている。

また、二重壁内部には外から他の飼い猫や野良猫が入ることもでき、二重壁内部からはLDKに入ることもできる。これによって新たな猫好きとの交流、猫同士のコミュニティの広がり、また人と猫との関わりが増え、より豊かな生活へと変化していくことだろう。そしてその関係もまたシェアされ、新たな関わりができていく。



猫好きの住人六人

● ...猫の空間

→ ...猫の動線

前面通路



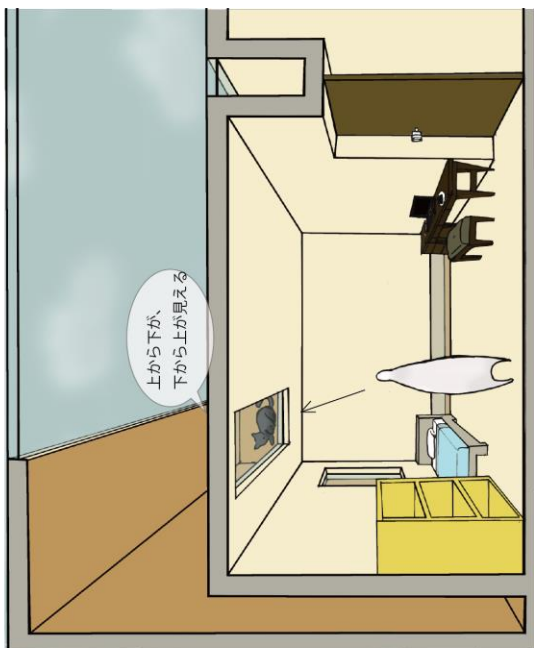
平面図兼配置図 1/100



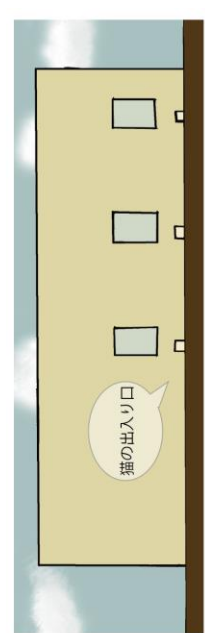
断面図 1/100



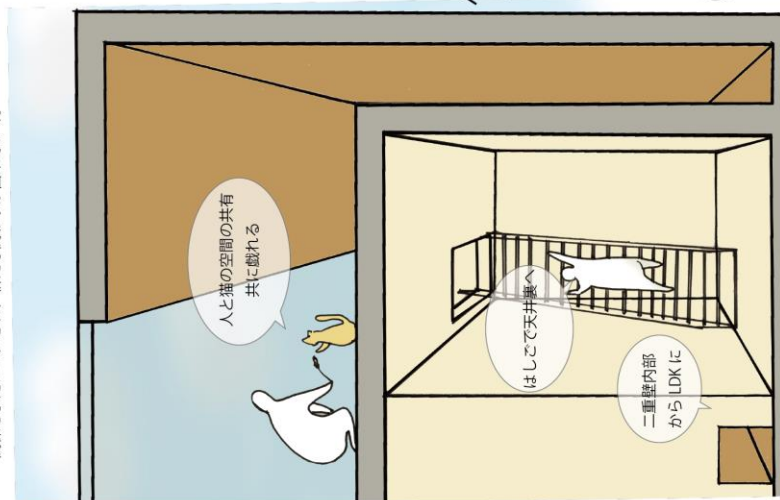
外観パース



内装パース



西側立面図 1/100



内装パース